

『今年度の町民運動会中止決定』

本年度の『町民運動会』の開催につきましては、先の公民館企画実行委員会(7月2日)以降、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、『午前中開催とし、感染対策の徹底を図るとともに開会式等の見直し、及びプログラムの絞り込みを行い効果的な運営をする。』など、開催に向けて検討を重ねてまいりました。

しかしながら、オミクロン変異株(BA.5)の出現による第7波到来、想像を絶する規模での感染急拡大の現況を勘案すると、町民運動会の開催は中止とせざるを得ない結論に至りました。

楽しみにして頂いていた皆様には大変申し訳なく、誠に残念ですが、一昨年・昨年同様、中止とさせていただきますのでお知らせ致します。

【中止イベント・行事】

①『笠郷地区町民運動会』 10月9日(日)

末筆ながら、新型コロナウイルス感染症の早期終息を願っています。

【広げよう 笠郷の豊かな文化】

『花壇コンクール NO.1 を目指して』 (スクールサポーターズ記事提供)

さる7月30日(土)、笠郷小学校倉本校長先生始め、PTA・スクールサポーターズ・町民会議の有志の参加により、小学校玄関脇花壇に花の苗(サルビア、メランポジウム、日日草、マリーゴールド)、500株を植え付けました。昨年・一昨年とコンクールは、コロナ禍で中止となりましたが、今年こそ、町の『花壇コンクールで絶対優勝するぞ!!』を合言葉に、児童の喜ぶ姿を楽しみに参加者全員が快適な汗を流していました。

(『二年間の経験が生き、散水の自動化も完璧、今年は上手く出来たね!』と、メンバー一同誇らしげでした。(笑)(笑))

また、小学校の児童さんに、花壇の定点観測をして頂き、花の成長を皆で見守っていくこととしました。

なお、花の苗の移植は、7月7日(木)に西脇農園さんのご協力を得て関係者の皆さんで実施しました。



【高めよう 笠郷の美しい品性】

子ども育成会による『花壇コンクール審査の実施』

今年も、各地区の子ども会花壇(17箇所)審査を、西脇町議会議員、池田(笠郷小)教頭先生を始め関係者により、8月27日(土)に実施しました。どの花壇も、丹精込め造られ素晴らしい出来栄でした。また、種まき・苗の植付から散水&除草作業等に亘る育成過程を記録として残す日誌のレベルも格段にアップしていました。

審査の結果、最優秀賞は、『西江下子ども会』、優秀賞は、『栗笠(東西:福地神社)、構子ども会』でした。

受賞された子ども会の皆さんおめでとうございます。惜しくも入賞を逃されました子ども会の皆さん、来年のチャレンジを期待しています。コロナ禍で暑い夏、本当にお疲れさま、そして有難うございました。 【審査員の独り言】



【高めよう 笠郷の美しい品性】

防災豆知識

(災害は忘れたころにやってくる・備えあれば患いなし!!)

2022年の防災週間
(令和4年)

8月30日(火)～9月5日(月)

毎年9月1日は防災の日で、防災の日を中心とした1週間が防災週間となっています。この機会に、防災グッズの準備や点検を行い、家族で防災や防災グッズについて話し合いをするなどして、災害についての認識を高めましょう。

2022年(令和4年)の防災週間は8月30日(火)から9月5日(月)まで、防災の日は9月1日(木)となっています。

由来は関東大震災

防災の日が9月1日に制定されたのは、1923年に大被害をもたらした『関東大震災』に由来しています。9月1日は、関東大震災が起きた日なのです。また、古くから伝わっている『二百十日』も、9月1日が選ばれた由来とされています。二百十日とは立春から数えて210日目の日を指し、現在の暦では9月1日前後です。この時期は、台風が襲来し、稲作などが大被害を受けやすい厄日とされていました。実際には、その時期が特に台風が襲来しやすいというデータはありませんが、台風シーズンに備えて警戒するという意味があったとされています。

伊勢湾台風が制定の決め手に

防災の日が制定される決め手となった災害が、59年の『伊勢湾台風』です。伊勢湾台風は、明治以降に襲来した台風の中で最も多い犠牲者を出した台風です。台風自体の規模は、観測史上最強で最大とされていた台風と比較すると、半分程度の勢力でした。勢力がそれほど強くないにもかかわらず想像を絶する犠牲者が出た要因は、高潮の発生と臨海の低平地エリアの堤防が崩壊したことと考えられています。これらの被害を受けたことが、不十分であった防災対策を見直すきっかけとなり、防災の日の制定にもつながったのです。

